

みやもと陸の政策提言 「加賀は変わる。」評価報告

宮元陸市長公約評価委員会
委員長 牧瀬 稔
makise@kanto-gakuin.ac.jp
<http://www.makise.biz>

1

牧瀬稔 →→→ どんな人？

法政大学大学院人間社会研究科博士課程修了。博士（人間福祉・法政大学）。博士論文は「地方自治体における環境協働の研究—環境再生行動を通じた自治体と住民の新たな協力関係—」というテーマで作成した。

民間企業、横須賀市都市政策研究所、（財）日本都市センター研究室、（一財）地域開発研究所を経て、現在、関東学院大学法学部地域創生学科（准教授）に勤務している。法政大学大学院公共政策研究科兼任講師等を兼ねる。

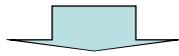
今年度は、戸田市政策研究所政策形成アドバイザー、新宿区新宿自治創造研究所政策形成アドバイザー、かすかべ未来研究所政策形成アドバイザー、東大和市まち・ひと・しごと創生総合戦略アドバイザー、羽村市魅力創出支援アドバイザー、寝屋川市シティプロモーション戦略策定アドバイザーなども担当している。

また、加西市元気なまちづくり市民会議委員（会長）、逗子市市民参加制度審査会委員、三芳町行政改革懇談会会議委員、厚生労働省「多様な社会資源を活かした『地域包括ケア推進』環境づくりに関する調査研究会」委員、スポーツ庁技術審査委員会委員をはじめ、厚木市、鎌倉市などの審議会委員に就いている。

2

本日の内容

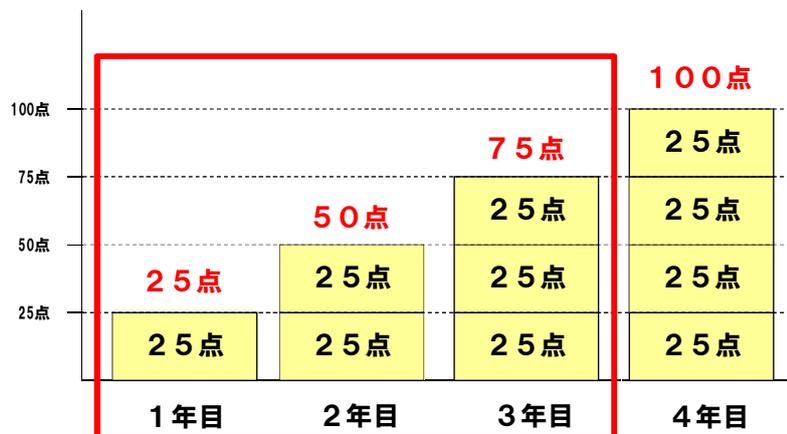
- ・ ① 評価方針
- ・ ② 評価基準
- ・ ③ 評価結果
- ・ ④ おわりに



20分ほど時間をいただき、評価結果をご報告いたします。

3

及第点の一つの視点



4

評価結果

●合計点

240点 / 275点

●達成率

87.2% / 100%

基本的に、過去3年間(H25.11~H29.3)の評価結果である。

- ・ 100点満点で87.2点であり、総合評価は「**良好な結果**」と判断される。

5

1 評価方針 (1) 評価対象

- ・ みやもと陸の政策提言「加賀は変わる。」の掲げた公約(マニフェスト)は、「Vision1」から「Vision4」に加え、「改革」となっている(5分野ある)。そして、評価対象は55項目ある。
- ・ これらの公約を評価するために「宮元陸市長公約評価委員会」を組織した。
- ・ 各分野の「点数」と「達成率」を評価結果とした。
- ・ 「Vision1」から「Vision4」、そして「改革」の各分野の合計点は異なっている。例えば、「Vision1 アジアから選ばれる温泉共創地」70点満点であり、「Vision2 持続可能なものづくり技術の集積地」は50点満点である。各分野の施策数が異なるため、満点も異なってくる(合計は275点満点)。
- ・ そこで達成率を「100点満点で何点か」と捉えてよい。

6

1 評価方針

(2) 評価材料

- ・ ① 加賀市から、公約に掲げられた「Vision1」から「Vision4」、「改革」の55項目について、原則として過去3年間(H25.11～H29.3)における進捗状況の資料を作成いただいた。その資料を評価資料として活用した。
- ・ ② ①の評価資料に加え、各評価者が、適宜、加賀市のホームページ等から資料を入手し、評価のための補足資料とした。
- ・ 本来は、評価の過程で分からない点は、加賀市に問い合わせるべきと思われる。しかし今回は時間がなかったため、問い合わせは行わなかった。
- ・ ③ 各評価者が評価結果をだしたあと、合議により、最終的な評価を決定した。

7

1 評価方針

(3) 評価方法

- ・ 宮元陸市長公約評価委員会を組織し、5分野55項目について、各評価者(5名)が個別に評価を行なった。
- ・ その後、合議により最終的な評価結果を決定した。
- ・ 各評価者は各項目について5点満点で採点するとともに、評価結果の理由を明示した。
- ・ 今回は参考として大学生(6名)による評価も実施している。
- ・ 大学生は1項目あたり2名で評価した(それぞれ担当を決めて評価した)。

8

みやもと陸の政策提言「加賀は変わる。」評価体制

宮元 陸・加賀市長

①評価依頼

②評価結果

【評価委員会】

【学識者評価】

- ・石井瑠美
中小企業診断士
- ・金子林太郎
敬愛大学経済学部教授
- ・中村円
政策研究者
(元草津未来研究所・政策研究参事)
- ・牧瀬稔
関東学院大学法学部准教授
- ・山村俊弘
日本アソシエイテッド・リサーチ研究所代表取締役会長・
主幹研究員

【大学生評価】

- ・石橋昌明 (博士課程1年)
- ・細谷友梨 (学部2年)
- ・前川隼亮 (学部2年)
- ・鈴木優佳 (学部1年)
- ・高橋夏美 (学部1年)
- ・舶来知里 (学部1年)

2 評価基準

- ・ 公約に掲げられた各項目の中で、条例制定関係以外については「評価基準①」を設定した。
- ・ 条例制定関係は「評価基準②」を設定した(中小企業振興条例(18)、公契約条例(22)、教育を振興するための条例(53))。
- ・ 今まで、上記の評価基準を用いて、様々な首長マニフェスト等を評価している(他首長と比較できる)。

2 評価基準

評価基準①

| 評点 | 基 準 |
|----|------------------------------------|
| 0点 | 施策・事業に着手していない段階、かつ予算等の措置を講じていない段階 |
| 1点 | 具体的に検討中(例: 検討会議の開催)、または予算の目途が立った段階 |
| 2点 | 施策・事業に着手済～4分の1程度を達成したと判断される段階 |
| 3点 | 施策・事業について、2分の1程度を達成したと判断される段階 |
| 4点 | 施策・事業について、4分の3程度を達成したと判断される段階 |
| 5点 | 施策・事業をほぼ達成したと判断される段階 |

11

2 評価基準

評価基準②

| 評点 | 基 準 |
|----|-------------------------------------|
| 0点 | 全く検討していない段階 |
| 1点 | 検討のための組織(例: 検討会議の開催)を設置し、検討を行っている段階 |
| 2点 | 条例素案を公表した段階・パブリックコメント手続を実施している段階 |
| 3点 | 条例案を議会に提出した段階 |
| 4点 | 条例案が議会で可決された段階(条例公布) |
| 5点 | 条例が施行された段階(条例施行) |

この評価基準を用いて、過去、小田原市長、厚木市長など、さまざまな首長や議会(会派)を評価している。

12

2 評価基準 評価基準

<各項目の評価基準のイメージ>



13

評価結果

●合計点

240点 / 275点

●達成率

87.2% / 100%

基本的に、過去3年間(H25.11~H29.3)の評価結果である。

- ・ 100点満点で87.2点であり、総合評価は「**良好な結果**」と判断される。

14

3 評価結果

Vision 1 アジアから選ばれる温泉共創地

58.8点 / 70点満点

14項目あり、70点満点で、58.8点(84.0%)という結果である。

全体的によい評価である。その中で、各項目みると「これからの観光人材を育てる観点から、各企画の立案に若者枠を設けます」が3.0点となっている。評価者からは「若者枠」を設けて企画立案に携わらせる段階には至っていないと判断したや「都市圏以外の地元若者人材、参考程度ではなく企画立案段階まで関わる機会が今後必要か」という意見があった。

15

3 評価結果

Vision 2 持続可能なものづくり技術の集積地

44.0点 / 50点満点

10項目あり、50点満点で、44.0点(88.0%)という結果である。

この分野もよい結果である。「山中漆器や九谷焼の技や原材料を科学的に検証し、新たな商品開発を描き出す産学官協働の特許開発プロジェクトを始動させ、新たな地域ブランドを創造します」は3.0点となっている。評価者からは「事業への着手は行われているものの、新ブランド創造へはいたっていない」という意見があった。

16

3 評価結果

Vision 3 子どもから高齢者まで安心して暮らせる ライフロングサポートのまち

73.8点 / 90点満点

18項目あり、90点満点で、73.8点(82.0%)という結果である。

この分野も全般的にいい評価である。しかし「医療・福祉・介護の人材を養成するため、看護学校を看護師・介護福祉士・社会福祉士養成と現場スタッフのキャリアアップも可能な教育機関にします」が1.8点と低い。評価者からは「具体的な検討にはいたっていないと判断した」というコメントがあった。

17

3 評価結果

Vision 4 市民の知恵を活かす政策先進都市

22.0点 / 25点満点

5項目あり、25点満点で、22.0点(88.0%)という結果である。

項目の「各まちづくり推進協議会の独自のまちづくり計画の作成を支援します」は3.0点であった。これは評価者の意見が分かれた。「助言指導等の支援の内容は不明だが、担当課があり実施のしきみがあることを評価」の一方、「まちづくり計画の支援にはいたっていない段階と判断した」という意見もあった。

18

3 評価結果

改革

36.8点 / 40点満点

8項目あり、40点満点で、36.8点(92.0%)という結果である。

全体的によい結果となっている。その中で低い点数をあげるとすれば、「老朽化した公共施設やインフラを維持・更新していくために、今後莫大なコストがかかることが予想されることから、役所横断的なチームを組織し、どのように対応していくのか、計画を策定した上で、市民との合意形成を図りながら改革を進めていきます」が3.6点となっていた。

19

3 評価結果

| Vision等 | 項目数 | 評価 | 満点 | 達成率 |
|---|-----|------|----|-------|
| Vision1 アジアから選ばれる温泉共創地 | 14 | 58.8 | 70 | 84.0% |
| Vision2 持続可能なものづくり技術の集積地 | 10 | 44.0 | 50 | 88.0% |
| Vision3 子どもから高齢者まで安心して暮らせる ライフロングサポートのまち | 18 | 73.8 | 90 | 82.0% |
| Vision4 市民の知恵を活かす政策先進都市 | 5 | 22.0 | 25 | 88.0% |
| 改革 | 8 | 36.8 | 40 | 92.0% |

※「Vision1」から「Vision4」、「改革」の点数を四捨五入しているため、若干のずれが生じている。

20

評価点別における項目

| 点数 | 項目数 |
|----------|-----|
| 0点 | 0 |
| 0.1~0.9点 | 0 |
| 1.0~1.9点 | 1 |
| 2.0~2.9点 | 0 |
| 3.0~3.9点 | 13 |
| 4.0~4.9点 | 26 |
| 5点 | 15 |

21

評点4以上の項目は・・・

41
—
55

評価結果

●合計点

240点 / 275点

●達成率

87.2% / 100%

基本的に、過去3年間(H25.11~H29.3)の評価結果である。

- ・この数字は、(他者の評価結果と比較して)かなりよい数値であるといえる(75点以上が及第点である)。

23

大学の成績評価だと・・・

A

| 点数 | 評価 | | コメント |
|---------|----|-----|-----------------------------|
| 100~90点 | S | 秀 | 特に優れた結果を残した公約(マニフェスト) |
| 89~80点 | A | 優 | 優れた結果を残した公約(マニフェスト) |
| 79~70点 | B | 良 | 妥当と認められる結果を残した公約(マニフェスト) |
| 69~60点 | C | 可 | 合格と認められる結果を残した公約(マニフェスト) |
| 59点以下 | D | 不可 | 合格と認められる結果を残していない公約(マニフェスト) |
| 未評価 | F | 未評価 | 公約(マニフェスト)を実施したには値しない |

24

【参考】大学生評価

25

評価結果

●合計点

223点 / 275点

●達成率

81.1% / 100%

基本的に、過去3年間(H25.11~H29.3)の評価結果である。

- ・ 100点満点で81.点である。有識者による評価と比較すると、やや厳しい結果となった。

26

アウトカム評価について

- ・ 様々な項目を実施した結果(アウトプット)、どのような成果(アウトカム)があらわれているのか？
- ・ この回答は、ある程度は、明確になりつつある。例えば、社会動態では 3年ぶりの増加であり、企業誘致により、新規雇用も創出しつつあるなどである。
- ・ 3年間と短い期間であるのにも関わらず、少しずつ成果(アウトカム)があらわれつつある。
- ・ 今後も行政の継続性を担保していけば、数年後には市民が実感を得られる成果になっていくだろう。

27

おわりに

- ・ 評価結果は、100点満点で87.2点となっている。また、多くの項目が4点以上であり、バラつきが少ない。とても高い評価と言える。
- ・ 今回の評価は、あくまでも評価基準にのっとり、アウトプット評価をした結果である(すなわち公約の項目を実施したか否かで評価している)。
- ・ その意味では、今回の評価はすべてがアウトカム評価になっていない(この点は評価者間でも議論となったが、今回はアウトプット評価を中心とした)。
- ・ その意味で、市民の中には、今回の評価に納得のいかない場合もあると思われる。しかし、まずはアウトプットが重要と指摘しておきたい(アウトカムについては市長から報告があるかもしれない)。

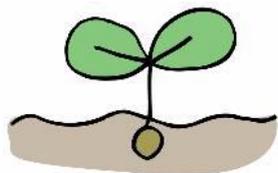
28

おわりに

- ・ 改革は、まずは自分に厳しくなくてはいけない。宮元市長は「改革」のうち、中項目「行政改革を進めます」の一つとして「退職金をゼロ」がある。
- ・ 公約にはしっかりと明記していないが、20146年12月に条例改正され、実現している。この点も、個人的には評価している。
- ・ 宮元市長の公約は「加賀は変わる。」である。この公約をはじめ、加賀市はいい方向に変わりつつあると理解できる。
- ・ 宮元市長は、今回の外部評価を踏まえ、しっかりと公約のPDCAをまわしていただきたい。また、任期満了まで、さらにまい進することを強く望みます。

29

ありがとうございました。



30